

研究名： 末期腎不全患者における経管栄養の離脱の後方視的検討

1．研究の目的

末期腎不全児は経口摂取不良や成長障害を来し、経管栄養の導入を要する場合があります。当院における末期腎不全児の経管栄養の実態を調査し、その使用率や使用に寄与する因子について検討することで、今後の診療に役立つことを期待されます。

2．研究の方法

研究対象：3か月以上の長期血液透析・腹膜透析、または腎移植を行った末期腎不全の患者さん

研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月

研究方法：2004年1月から2021年12月に3か月以上の長期血液透析・腹膜透析または腎移植を行った末期腎不全児の患者情報を後方視的に検討し、経管栄養の使用割合や使用に影響する因子について解析を行います。

3．研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの性別、年齢、疾患、経管栄養の使用、合併疾患など

調査項目：年齢(生年月日)、性別、腎疾患、腎外症状、基礎疾患、経管栄養開始日、経管栄養終了日、導入した腎代替療法(血液透析、腹膜透析、腎移植)、透析導入日、透析終了日、透析終了理由(透析離脱、腎移植、死亡)、透析導入時の身長と体重、透析導入時の血液検査結果、最終観察日

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報には保守されます。

4．試料・情報の公表

結果は学術雑誌や学会などで公表されますが、その際個人を特定できる情報は一切公表されません。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年3月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 腎臓リウマチ膠原病科 大坂 湊

住所：東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181

研究責任者：

国立成育医療研究センター 腎臓リウマチ膠原病科 大坂 湊